

「小・中・高校におけるセルフメディケーション教育の推進プロジェクト」概要報告

加藤 哲太(東京薬科大学教授)

平成17年度SMACプロジェクトとして、4テーマが取り上げられた。本プロジェクトはその中の一つである。

1. 小・中・高校におけるセルフメディケーション教育の必要性

セルフメディケーションの実現には、自分の健康チェックや生活改善などと共に、生活者が健康や病気に関する正しい知識を持ち、薬およびサプリメントの基礎知識と適切な使い方を身につけていることが必要不可欠であると考えられる。その基盤づくりとなる教育は、身体や健康について興味を示す小学生から始め、中学生、高校生を対象に、そのレベルにあわせて繰り返し教えることが必要であると考えた。

2. セルフメディケーション教育の現状

小・中学校の学習指導要領では、健康な生活と疾病の予防について理解することを主としており、「医薬品の正しい使用法」は高校ではじめて取り上げられている。平成17年には中央教育審議会から、初等中等教育における「病気の症状および医薬品の正しい使い方に関する教育」の必要性が提言された。

3. 本プロジェクトの活動

活動目標として、情報の収集、情報の発信、教育の実施を掲げた。

[本年度の活動]

情報の収集：学校薬剤師会を中心に全国から教材などの活動資料を収集した。

情報の発信：

講演会、学会などでの講演、発表

教材等の作成

・「くすりの正しい使い方 初級用・中級用・上級用&薬物乱用防止テキスト」江戸清人監修

・「クスクス先生」江戸清人他

・「薬の正しい使い方」(CD[パワーポイント]45分用、90分用)山崎幹夫、加藤哲太

教育の実施

教育の目標：教育の実施にあたり、一般目標 GIO)

を、「ヒトの健康や病気について学び、薬およびサプリメントの正しい使い方などについて理解することにより、セルフメディケーションのための適切な行動をとることができる。」とし、5項目の行動目標 SBOs)を決定した。

授業の実施

「薬の正しい使い方」講義

(1) 斉藤百枝美・江戸清人：独自に作成した小学校低学年用、高学年用、中学校用テキストを使用。

(2) 加藤哲太：教材に「薬の正しい使い方」CD[パワーポイント]を用いた小学校中高学年に対する教員と薬剤師による授業(トライアングル授業)

その他、禁煙、薬物乱用防止、アンチドーピングに関する授業の実施



4. 今後の活動予定

情報の収集：教育情報資料の収集を継続すると共にネットを通じて紹介し、セルフメディケーション教育資料集積場所を目指す。

情報の発信：

・教材作成 ・ネットによる教育の啓発活動

教育の実施：SMACネットによる教材貸し出し等の事業の展開。

通常総会・特別セミナー・交流会のご案内

本年6月12日開催の平成18年度SMAC通常総会・常任理事会・理事会および同時開催の特別セミナー・交流会について開催概要が決定いたしましたのでお知らせします。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

日時：平成18年6月12日（月）

会場：京王プラザホテル・錦の間 / 交流会：同ホテル扇の間

対象者：医師、薬剤師、医薬・食品メーカー、卸売業、小売業、薬種商、配置薬業、
企業団体等の健康管理（健保）スタッフ、その他

定員：150名（定員になり次第〆切とさせていただきます）

参加費：2万円（SMAC会員は1人15,000円）

申込方法：参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記事務局宛FAXにてお申込ください。

申込書送付後、指定口座へ参加費をお振込いただけますようお願い申し上げます。

参加費振込先：三井住友銀行 新横浜支店 普通 0320714

セルフメディケーション推進協議会 宛

*大変恐れ入りますが振込手数料はご負担頂けますようお願い致します。

*締切後のキャンセルは全額キャンセル料になりますのでご注意ください。

参加申込締切：平成18年6月2日（金）

スケジュール

10：00～10：30 第25回常任理事会

10：30～11：20 第6回理事会

11：30～11：45 第4回通常総会

12：30～12：50 記者会見

13：00～ 第4回特別セミナー

「医療制度改革と薬事法改正

セルフメディケーションに於ける一般用医薬品販売の今後」

基調講演

座長：SMAC常任理事 中村 健

「医療制度改革の現状とセルフメディケーションへの期待」

厚生労働省医療保険局医療課長 麦谷 眞里 氏

14：00～16：15 パネル・ディスカッション

座長：SMAC常任理事 村田 正弘

パネリスト：青井 倫一 氏*（慶応義塾大学大学院教授）

大江 方二 氏（日本大衆薬工業協会副会長）

鎌田伊佐緒 氏*（全日本薬種商協会専務理事）

小田 兵馬 氏（日本チェーンドラッグストア協会副会長）

棚橋 節子 氏（(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会・常任顧問）

*厚生科学審議会・医薬品販売制度改正検討部会メンバー

16：30～18：00 交流会（扇の間にて）

パネルディスカッション終了後、SMAC池田義雄会長以下、副会長、理事と参加者全員の交流会を開催致します。（参加費無料）

*詳細は決定次第ホームページに掲載いたしますとともに、後日ご案内申し上げます。

第4回日本セルフメディケーション学会のご案内

日 時：2006年10月21日(土) 22日(日)
会 場：共立薬科大学・芝校舎
年会長：工藤義房(日本薬剤師会副会長)

第1日 10月21日(土) 13:30~20:00

- 12:30~ ポスター展示(一般発表)..... 1号館1階ホール
- 13:40~16:00 平成17年度プロジェクト活動報告..... B1 マルチメディア講堂
1. 小・中・高校におけるセルフメディケーション教育の推進 加藤哲太委員長(東京薬科大学教授)
 2. セルフメディケーションにおけるサプリメントの適正使用 堀美智子委員長((株)エス・アイ・シー医薬情報部門責任者)
 3. 医療担当者のための大衆薬の必要知識 未定
 4. セルフメディケーションと運動 和田高士委員長 他(慈恵会医科大学健康医学センター長)
 5. 総合討論
- 16:30~17:30 公開講座(特別講演1)..... B1 マルチメディア講堂
演題:「サプリメントの正しい使い方」(仮)
演者:石田幸久氏(日本健康・栄養食品協会健康食品部部长)
- 18:00~20:00 懇親会..... 2号館1101室

第2日 10月22日(日) 10:00-16:30

- 10:00~11:00 特別講演2..... B1 マルチメディア講堂
演題:「食と健康」(食物繊維を中心に)
演者:池上幸江氏(大妻女子大学・食物学科・教授)
- 11:00~12:00 特別講演3..... B1 マルチメディア講堂
演題:「医薬品販売制度改正について」(仮)
演者:未定(厚生労働省・医薬食品局の担当官を予定)
- 14:00~16:20 パネルディスカッション..... B1 マルチメディア講堂
「薬学教育とセルフメディケーション」
- パネリスト1:早瀬幸俊(北海道薬科大学教授)
演題:大学におけるセルフメディケーション教育の現状と今後への期待(仮)
- パネリスト2:(依頼中)(上田市・薬局開局者)
演題:薬局薬剤師から見た大学でのOTC教育の必要性(仮)
- パネリスト3:西沢元仁(大衆薬工業協会)
演題:メーカーの立場から見た大学でのOTC教育の取り入れ(要望)(仮)
- パネリスト4:薬学生(東京理科大学薬学部学生)
演題:OTCの模擬販売実習の体験から感じたこと(仮)

総合討論

SMAC 賞授与 平成18年度SMAC賞受賞者表彰

参加費:会員¥2,000、非会員¥3,000、学生¥500

詳細はSMACホームページ(<http://www.self-medication.ne.jp>)でもご覧頂けます。

お申込・お問合せはSMAC事務局まで(電話03-5521-0890、FAX03-5521-288)

管理栄養士・栄養士が自主的に会員となり運営する全国組織の職能団体が社団法人日本栄養士会(中村丁次会長)である。栄養士の免許を有する「正会員」数は、平成18年3月末現在で56,922人。都道府県栄養士会の所属者と都道府県栄養士会で組織され、会員の就業施設別に、学校健康教育、行政、研究教育、集団健康管理、地域活動、病院、福祉の7つの職域協議会を構成している。栄養に関する調査研究、集会、知識の普及、会員の資質向上といった事業を実施している。東京神田・神保町の日本健康・栄養会館にある本部に、八鍬事務局長をお訪ねした。

編集部：設立は昭和20年の5月に遡るとお伺いしていますが、いま最も重要な活動は何ですか。

八鍬：いま論議されている平成18年度医療制度改革では、日本の医療を予防重視に構造転換し、医療保険者に健診・保健指導を義務付ける方針が打ち出されています。改革で充実強化される新たな生活習慣病対策は平成20年度にスタートします。予防重視の考え方では、健診の役割も「病気の人を発見して治療しよう」というよりは、「病気と健康のグレーゾーンにいる人を、それ以上悪くならないようにしよう」というところに力点がかけられます。

栄養は食事療法として治療の中で機能する面もありますが、本来は健康の保持・増進、さらに疾病の予防としての役割の方が大きいのだと思います。一般の生活者たちにそれをどうわかりやすく、しかも実効が上がる



る形で伝えるか。望ましい食生活のあり方を理想的な形でだけ示すのは、一般の生活者にとって実行が難しく持続しません。平成12年に、健康で豊かな食生活の実現を目指して策定された「食生活指針」を具体的な行動に結び付けるために、食事の望ましい組み合わせやおおよその量を親しみやすく、わかりやすいイラストで示した「食事バランスガイド」(http://www.maff.go.jp/food_guide/balance.html)を、厚生労働省と農林水産省が策定しました。中村会長も委員を務めています。このガイドの活用を図ることは国民の健康保持・増進に大きく寄与し、ひいては疾病の予防に貢献すると考えており、日本栄養士会では講習会や研修会の実施、出版物刊行等、その普及啓発に大いに力を入れています。

編集部：バランスの良い食生活を無理なく送ることによって自分の健康を自分で維持する、という点ではセルフメディケーション活動と重なる部分がありますね。八鍬：そうですね。とはいえ、長い間に築き上げられた個人の食生活、食習慣を短期間に変えるのは困難です。いままでの食習慣に問題があるとすれば、それを少しづつ良い方向に変えていくための「食生活のパートナー」として役に立っていくことができればと考えています。

編集部：ありがとうございました。

事務局便り

2002年、新横浜で産声をあげたSMACは、2003年4月神奈川県から特定非営利活動法人の認証を受けました。その後、2005年6月の組織一部改変、役員の強化を経て、本部所在地変更の承認を県庁に申請していましたが、先般3月28日、移転先の所管である東京都庁より無事「認証書」の交付を受け、東京法務局への登記、都税事務所への報告も済ませて、東京都所在のNPO法人となりました。一連の手續きにご苦労頂いたSMAC桑江監事に厚く感

謝申し上げます。会員の皆様には長らくご迷惑をお掛けしておりましたが、これで晴れて郵便・銀行振替用紙の作成等が可能となります。

別掲お知らせのように、SMACでは6月12日(月)東京新宿・京王プラザホテルにおいて医療改革と今回の薬事法改正を取り上げた特別セミナーを開き、併せて常任理事会・理事会・通常総会を開催いたします。皆様奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

発行：特定非営利活動法人(NPO法人)セルフメディケーション推進協議会

事務局：〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル8階

(株)創新社内 Tel.03-5521-0890 Fax.03-5521-2883

<http://www.self-medication.ne.jp> E-mail:smac@self-medication.ne.jp